

3月議会のご報告です!!



平野貞雄

ひろせ久美子

川島あゆみ

2022年 春号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団 住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047 (FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp

2022(令和4)年度予算が可決 一般会計を含む計9会計に賛成

毎年3月議会では、新年度の予算審査を行っています。一般会計では、日本共産党が要望していた施策の他、新たな積極策が実現します。精道中学校の建て替え工事が継続中で、2022年度に完成します。現在3中学校で給食が自校方式で提供されています。また、経済的な理由により大学進学をあきらめないようにと大学入学金への支援とともに大学受験

料の支援がはじまります。本市は、2021年6月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、新年度は脱炭素社会を目指し、環境計画の見直しが行われます。中小企業、小規模事業振興基本計画が新年度策定されます。「市民が主役」を念頭に、未来に希望が持てる市政運営を行うことを求め賛成しました。(ひろせ)



予算特別委員会
6日間にわたり
審査しました!

また、下記の3会計に反対しました。

01

介護保険事業 特別会計

「介護の社会化」としてスタートした制度ですが、特別養護老人ホームの入所要件が要介護3以上となっていることや、利用料の引き上げがあるなど、「在宅」へと逆戻りしています。

02

後期高齢者医療事業 特別会計

75歳以上を保険制度から切り離し差別化していることや、2022年10月から窓口負担を2割に引き上げることが決められており、医療抑制につながると懸念しています。

03

三条津知財産区 共有財産会計

政府が推し進めようとしている自衛隊の「敵基地攻撃能力」を持つものなら、通信基地として自衛隊に貸し出している六甲山頂が真っ先に攻撃される危険性があります。返還を求め、六甲山頂にふさわしい公園として整備すべきです。



name: ひろせ久美子
TEL / 090(1951)0724

JR芦屋駅 南地区 再開発

事業がようやく再スタートへ!!

新年度予算に再開発事業費約23億円が計上されました。日本共産党は、駅南では毎年人身・物損といった交通事故が発生しているため、歩車分離によって市民へ安全安心な駅前を提供できるように、事業に賛成してきました。

しかし 3月14日の予算特別委員会では、新年度予算にも帰山議員(公明)から「修正案」の提出があり、再開発事業に反対の意思が表明されました。提出者からは、事業を新年度も一時停止させるとともに、駅前の道路を一方通行にすればよいと提案がありましたが、駅前環境の改善や歩行者の安全につながるとは考えられず、日本共産党は修正案に反対、原案に賛成しました。

また、今まで事業に反対していた自民党が修正案に反対、原案に賛成(※1)したため、予算原案が賛成多数で可決しました(賛否は表参照)。ちなみに、修正案提出者までも原案に賛成しています。

なお 事業の中身は、1年前に事業費を大幅に縮減してから特に変わったとは言えず、時間と人件費等を浪費しただけと言えます。さらに、地権者や市民を待たせてきたことは、重く受け止めるべきです。(かわしま)



3月26日より JR芦屋駅南口の供用が始まりました

予算特別委員会での再開発事業特別会計への態度

	共産 3 ※3	しみん 3	維新 2	自民 5	公明 3	山口 寺前	大塚 ※2	中島 ※2	青山 ※2
修正案	×	×	×	×	○ 提出者	×	○	○	○
原案	○	○	○	○	○	○	○	×	×

※1: 川上議員(自民)は棄権 ※2: 会派BEASHIYAは11月に解散 ※3: 平野議員は委員長のため採決に加わらず (敬称略)

市政
報告会

Date / 4月23日(土) 13時30分～
Place / 市民センター114室(公民館)
3月議会の報告です
お気軽におこしください

相談会
なんでも

Date / 4月22日(金) 18時～20時
Place / 市民センター207室
濱本由弁護士が同席します
できればご予約を(当日受付は19時まで)

市民のいのち暮らし守る行政の役割を!と総括質問

日本共産党を代表して5つのテーマで質問しました。(ひらの)

1 暮らし・福祉

自己責任を強調し公的責任後退の「新自由主義」から脱却、貧困と格差の解消めざす施策を求め、コロナ禍での暮らし、営業への支援を求めました。



2 環境

12月議会に続いて、情勢から遅れている環境計画の見直しの確認と気候非常事態宣言を重ねて提起。神戸市灘区で火力発電所を稼働する事業者(※)への中止要請を求めました。市は消防庁舎など10施設で電気を再生可能エネルギーへ転換することを表明しました。

※神戸製鋼所の子会社「コベルコパワー」



3 まちづくり

集会所等公共施設の配置見直しは防災の視点から行うことを提起。歩行者の安全確保などJR南地区再開発事業の意義を再確認しました。



4 行政運営

民間委託など「公務の外注化」が新自由主義の下で進められ、芦屋でも数十、数百の行政の業務を一括して委託する「包括民間委託」が導入されています。行政力を後退させ、ひいては市民サービスの低下につながりかねず、これ以上拡大しないよう迫りました。

5 教育・文化

全児童生徒にタブレットを使わせる教育のデジタル化「GIGAスクール」について、人格形成への影響、教育効果など未解明であり、メリット、デメリットについての市の認識を質し、子どもたちや保護者、教職員を主体とした検証の体制を提起しました。



name: 平野 貞雄
TEL / 0797 (22) 0248

ロシアに対し全議員で抗議!!

ロシアによるウクライナへ侵略を受け、3月7日に芦屋市議会の全議員でロシア大使館へ抗議文を送付しました。いかなる理由があろうと、軍事侵略は国際法違反であり許されません。

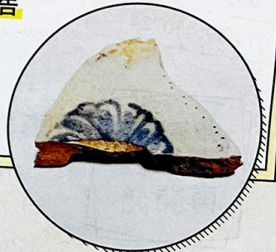
● 抗議文はこちら



城山に「お殿様」が住んでいたお城が!?

在野の研究者によって城山遺跡から画期的な遺物が採集され、皆にすぎないとこのこれまでの評価から「お殿様」か、高位の武将の居城であった可能性があることを紹介。市も報告書の作成を表明しました。(ひらの)

城山で採集された輸入品と考えられる青磁器片 (山本徹男氏より写真提供)



議員報酬を削減しました

議員の報酬は「市の財政状況、市民の生活実態等を考慮し、検討する」とされています(議会基本条例より)。

長引くコロナ禍によって、市民生活に影響が出ており、また市の財政負担も増えていることから、議員報酬削減の議案を提出しました。2023(令和5)年4月30日の任期満了まで報酬を5%削減することで、計1000万円を超える予算を捻出できると考えました。

議案は川島が、大原議員(維新)、中村議員(しみのこえ)とともに提出し、山口議員が賛同しました。3月22日の本会議で、全会一致で可決できました。(かわしま)

● 議員提出議案はこちら



「議員のハラスメント」決議で再発防止へ

2020(令和2)年6月議会で、大塚のぶお議員が一般質問で取り上げた「市職員のパワハラ事案」は、当事者に内容を確認せず、同意も取っていないことがわかりました。

芦屋市議会として、このような議会での不適切な取り上げ方を二度と起こさないために、留意することや起きた場合の対応について取り決め、それらを遵守することを決議しました。

決議は採択されましたが、大塚議員はもちろんのこと、大塚議員の行為を「功績」と称賛した議員の発言は、当事者の気持ちを深く傷つけたのではないのでしょうか。不適切にパワハラ事案を取り上げた議員の責任は別途問われなければなりません。(ひろせ)

● 決議文はこちら



議会内で意見交換ができました!!



name: 川島あゆみ
TEL / 070 (5037) 9134

